

Oyama

2025年5月30日
町田市立小山小学校
校長 三瓶 昌信

町田市小山町944番地
TEL 797-2733

<http://www.machida-tky.ed.jp/e-oyama/>

食育月間・ふれあい月間・読書週間

校長 三瓶 昌信

6月は、「梅雨入り」「夏のはじまり」「熱中症」…様々なイメージがありますが、皆さんはどうお考えですか。学校では、雨により室内で過ごすことが多くなる、イライラが募る、トラブル発生…とならないように子供たちの様子を見守っていきます。

6月は「食育月間」「ふれあい月間（11, 2月も）」「読書週間」があります。それぞれ、国、東京都本校の取り組みです。

- 「食育月間」…私が子供のころは「食育」という言葉もなかったのではと思っていましたが、調べたら明治時代から使われてきた言葉だそうです。その中に、次の言葉がありました。
 - 「体育も智育も才育も、すべて食育であると認識すべき」
 - 「小児には、徳育よりも、智育よりも、体育よりも食育が先」それが近年、偏った栄養摂取、朝食欠食など、食をめぐる様々な問題が浮上し、食育の必要性が高まり、2005年に「食育基本法」が制定され、食育が推進されるようになりました。学校では先日、一部の学年、学級でベジチェック（カゴメの協力）を使って「野菜摂取量」を測定しました。1か月後に再測定します。「食育」を教育活動の重点の一つにしたいと考えています。ご家庭でも「食」について、ぜひ話してください。
- 「ふれあい月間」…東京都が実施する、毎年6, 11, 2月に行う「いじめ防止強化月間」のことです。いじめだけでなく、不登校も含めた問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を目的にしています。些細なことでも気になることは、遠慮なくご相談ください。
- 「読書週間」…本校では6月9日～20日までを「読書週間」としています。2学期にも実施しています。学校図書館貸し出し数 35000冊を数値目標としています。また、タブレットを活用する「電子図書館」の活用にも積極的に取り組んでいます。

私たちが生活していくうえで、とても重要な3つの取り組みと考えます。ぜひご家庭で話題にいただき、学校と共に取り組んでいただきたい課題です。よろしくお願いいたします。

毎月学校だよりを書いていて、内容が保護者の皆様をお願いすることが多いなあって感じています。これは子供たちの教育は学校が担うものと、ご家庭をお願いすること、お任せすることがあるからだと考えます。

学校と家庭が両輪となり、それをPTA、おやまっこ、青少年健全育成小山地区委員会、親児会等の関係団体や、ONW協議会、各町内会等の地域に支えていただき、「地域の宝」である子供たちを育むという構図を大切にしていきたいです。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

上履きについて

子供たちの上履きについて以前より気になっていたのですが、本校では大多数が昔ながらのというか、甲の部分に1本ゴムのあるシューズを着用していますが、靴底が薄く、健康面からは推奨できません。現在は様々な上履きが販売されています。子供たちの足の健康から「教育シューズ」等の名称で甲の部分に三角形のゴムになっている靴底の厚めの靴がいいのではと考えます。値段も様々ですので、現在のものを否定はしませんが、今後ご購入の際にご検討ください。本校でも何種類か、しっかりした上履きを履いている子がいます。機会があったらご覧ください。外履きは「いい靴履いているなあ」というケースが多いですが、ぜひ、上履きについてもお考え下さい。